

社会資本総合整備計画 事後評価

安心安全な市民が主役のまちづくり計画

平成 29 年 12 月

長野県伊那市

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成29年●月

計画の名称	1 安心安全な市民が主役のまちづくり計画							重点配分対象の該当
計画の期間	平成24年度～平成28年度(5年間)			交付対象	伊那市			
計画の目標								

- ・地域活動の拠点となるコミュニティ施設の整備と活動の活性化及び地域内外の住民の親睦と連帯を深め、活力ある地域社会を実現することを目的に設置されている体育施設及び公園施設の利用状況の改善を図り、地域住民の交流と地域活動の促進による「市民が主役」のまちづくりを推進する。

計画の成果目標(定量的指標)

- ・西箕輪:社会資本総合整備計画 事後評価
- ・体育施設(サンビレッジ)及び伊那市宮野球場の1年間の利用者数を43,122人/年(H22)から48,600人/年(H28)に増加

定量的指標の定義及び算定式

3地区の地域交流センターの1年間の利用者数を集計する。	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値	中間目標値	最終目標値	
	(H24当初)	(H26末)	(H28末)	
75.034人/年	75.034人/年	93.000人/年		
3地区の地域交流センターの1年間の利用者数を集計する。				
体育施設(サンビレッジ)及び伊那市宮野球場の1年間の利用者数を集計する。	43,122人/年	43,122人/年	48,600人/年	

全体事業費	合計(A+B+C+D)	1,866.6百万円	A	1,682.2百万円	B	184.4百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0%
-------	-------------	------------	---	------------	---	----------	---	------	---	------	------------------------	----

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
・都市再生整備計画事業担当課(企画政策課、建設課、生涯学習課、スポーツ振興課)において実施する。	平成29年6月
・伊那市地域自治区条例に基づき設置された各地域協議会において実施する。	公表の方法
	伊那市ホームページにおいて公表する。

1. 交付対象事業

A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
									H24	H25	H26	H27	H28				
1-A-2	都市再生	一般	伊那市	直接	伊那市	西箕輪地区都市再生整備計画事業	道路、高次都市施設、地域創造支援事業 1,136ha	伊那市						451.3			別添3
1-A-3	都市再生	一般	伊那市	直接	伊那市	竜東地区都市再生整備計画事業	道路、高次都市施設、地域創造支援事業 1,135ha	伊那市						855.1			別添4
1-A-4	都市再生	一般	伊那市	直接	伊那市	手良地区都市再生整備計画事業	道路、高次都市施設、地域創造支援事業 573ha	伊那市						375.8			別添5
合計													1,682.2				

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
									H24	H25	H26	H27	H28				
1-B-1	公園	一般	伊那市	直接	伊那市	伊那公園整備事業	球場の改修及び遊具の整備 A=18,000㎡	伊那市						184.4			
合計													184.4				

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-B-1	都市再生整備計画事業(1-A-3)と一体的に地域内外の住民の親睦と連帯を深め、活力ある地域社会を実現することを目的に設置されている公園施設の利用状況の改善を図ることで交流と地域活動の活性化が期待される。	

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
										合計					

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I. 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 防災拠点の機能を有した地域住民の交流及び地域活動の拠点となる新たな地域交流センターが完成した。 地域交流センターの新たな設備（プレイルーム等）を活用した地域住民の交流や活動を促進するための公民館講座が創設され、活動の活性化につながっている。 駐車場不足が利用率低下の一因となっていたが、地域交流センター専用の駐車場を確保することができたため、施設の利便性が向上した。 地域交流センター周辺道路を整備することで、高齢者から子どもまでが安全で快適に過ごせる生活環境が整った。 				
II. 定量的指標の達成状況	指標① 3地区の地域交流センターの1年間の利用者数を75,034人/年(H24)から93,000人/年(H28)に増加	最終目標値	93,000人/年	目標値と実績値に差が出た要因	民間のカルチャー施設や教室の開設により、公民館講座利用者の固定化及び高齢化が進み、新たな利用者が増えていないことが原因と考えられる。また、利用者の自宅から地域交流センターまでの交通手段の確保も課題となっている。	
		最終実績値	75,642人/年			
	指標② 体育施設（サンビレッジ）及び伊那市営野球場の1年間の利用者数を43,122人/年(H24)から48,600人/年(H28)に増加	最終目標値	48,600人/年	目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値	39,774人/年			
III. 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> 地域交流センターはバリアフリー化により高齢者にも利用し易い施設となった。また、プレイルーム等新たな設備を利用した子育て世代のサークル活動も始まり、住民活動の活性化につながっている。 地域交流センターの暖房設備に薪ストーブ、ペレットストーブを活用し、二酸化炭素の排出量を削減している。特に、西箕輪地区では、薪の調達を地域住民が担っているが、間伐などで調達した木を薪として有効活用しているため、山の整備が進み、地域の里山づくりに寄与しているとともに、住民同士の新たな交流も生まれている。 				

3. 特記事項（今後の方針等）

<ul style="list-style-type: none"> 地域交流センターの利用者の増加を図るため、移動手段の確保（公共交通の路線見直し等）により、より一層利用しやすい環境を整えていく。 引き続き、地域交流センターを活用した地域住民の交流と地域活動の促進による「市民が主役のまちづくり」を推進する。

参考図面（社会資本整備総合交付金 市街地整備）

計画の名称	1 安心安全な市民が主役のまちづくり計画	交付対象	伊那市
計画の期間	平成24年度 ～ 平成28年度（5年間）		

